

学校開校 準備委員会 NEWS

令和3年4月 No.11 榎尾中学校区学校開校準備委員会

第9回学校開校準備委員会のご報告

3月25日（木）、第9回学校開校準備委員会を開催しました。

今回は、（仮称）榎尾学園の教育内容のイメージや方向性、学校施設の基本計画について、市からの説明の後、意見交換しました。

当日の内容

これまでの経過を確認後、校舎配置に関する説明を行いました。

「地域と共に育む学び舎」 2.5階建て校舎！

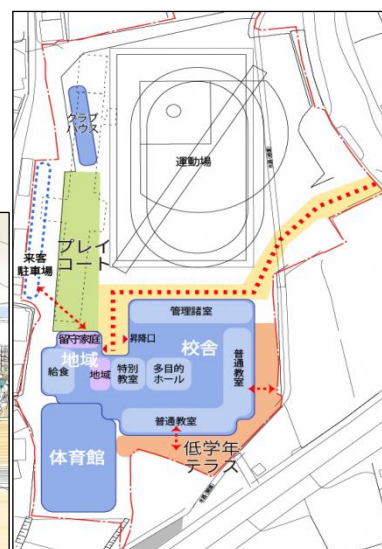
学校施設の設計コンセプトは、「地域と共に育む学び舎」としており、地域と児童生徒が気軽に交流できる学校、地域の自然や敷地の特性を生かした学校としています。



外観イメージ



内観イメージ



校舎等配置イメージ

続いて、現段階での検討案として、（仮称）榎尾学園で展開する教育内容のイメージを説明しました。

将来の可能性に挑戦！ 特色ある（仮称）榎尾学園の教育！

- ・ 独自の就学定員、豊かな地域教育資源など、（仮称）榎尾学園ならではの魅力ある教育を展開します。
- ・ 最新の ICT 環境を活かした先進の学習モデルを推進します。
- ・ より安全・快適な環境での水泳授業を確保するため、民間屋内プールの活用を計画しています。

⇒ これらのほかにも、開校までに魅力あるカリキュラムの編成の検討を進めます。

（主な意見は裏面へ）

当日の説明した内容については、「和泉市 学校開校準備委員会」で検索するか
右記 QR コードから参照できます。



◎主な意見等

(民間プール活用について)

- ・プールの設置については、賛成、反対の意見は分かれている。
- ・プールの有無で開校が遅れ、特色あるいい学校ができないほうが、通う子どもたちにとってはデメリットではないか。
- ・暑さ指数等で授業ができないことへの対応、民間での安全指導への期待、プールの授業日数考えるとグラウンドが広い方が利用価値が高いことなど、民間活用による良さを感じる。
- ・子どもの「なぜないの」という意見や今まであって当たり前のものという意見がある。
- ・設置が困難ならばその分を、それ以上の学校施設の充実にあててほしいという意見もある。
- ・在校生に聞くと、一昨年ぐらいから暑さ指数の関係でプールに入れていないとのこと。
- ・プールを使えている感覚はない状態だが、あって当然と思っている人は多い。
- ・民間はつぶれずに使えるのか。子供の泳ぎを保障できるのか。全員泳げるように平等に、自分の命を守れる泳力を身につけてほしいと思っている。
- ・学校はプールに入りに行くだけではないし、年間通して色々なことを学ぶところ。みんなの意見を上手くまとめ、予定通り令和7年に開校できるようにしていただきたい。

【市より】

プールを設置せず、民間屋内プールを活用することは、子どもにとって一番いい方法と考えて決定しました。手続きにおいては、十分な周知ができず、不安や不信を招きましたが、今後、モデル事業の様子なども発信していきます。

(南横山小学校について)

- ・南横山小学校の活用について具体案が固まっていないが、活用をしていくという方向性で間違いはないか。

【市より】

具体的な内容はこれからですが、活用することは間違いありません。

(施設について)

- ・低学年テラスは、先生が見守ってなくても遊べる環境なのか、人工芝の老朽化に伴う補修も気になるので、そういったあたりを十分考えて作ってほしい。
- ・メディアセンターはすごく自由できれいな空間に見えるが、これでは落ち着いた学習環境は確保できないと思う。

【市より】

大きな方向性は決定していますが、設備・運用などは、いただいた意見を参考に詳細を整理していきます。

ニュースレターをメール配信中!

このニュースレターの受取りを希望される方は、右記 QR コードを読み取っていただき、氏名、「ニュースレター希望」と記載のうえ、ご返信ください。



【お問合せ】

教育・子ども部 教育総務課 〒594-8501 和泉市府中町 2-7-5 (TEL)0725-99-8196 (E-mail) m-junbi-iinkai@city.osaka-izumi.lg.jp